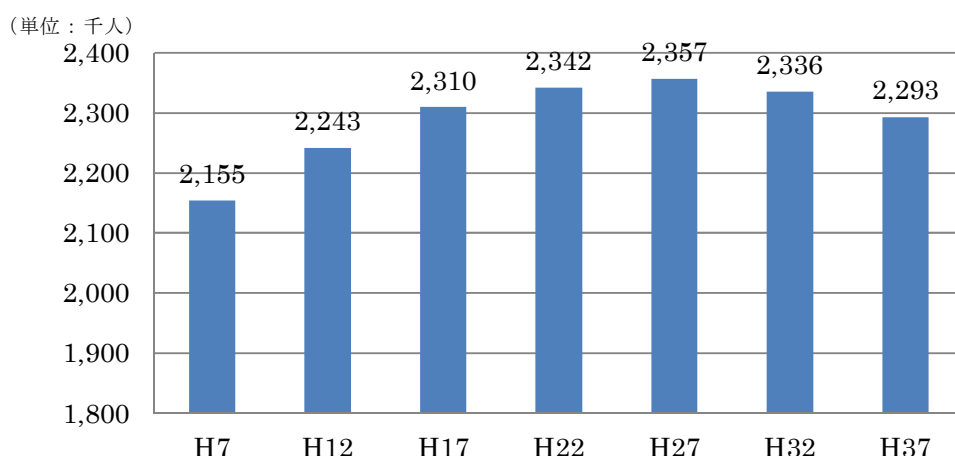


<札幌2次医療圏の人口推移>



(単位：人)

	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37
圏域合計	2,154,646	2,242,564	2,310,015	2,342,338	2,357,202	2,335,825	2,293,364
全道合計	5,692,321	5,683,062	5,627,737	5,506,419	5,361,296	5,178,053	4,959,984

*平成7～22年は国勢調査

*平成27～37年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」を活用

(2) 札幌2次医療圏の患者受療動向

「北海道医療計画[改訂版]札幌圏域地域推進方針(平成25年8月)」によると、当圏域内における患者動向は、入院では江別市、千歳市、恵庭市を除いた自治体で札幌市での受療率が地元医療機関での受療率を上回っており、圏域全体として札幌市への依存度が高くなっています。

当市においては、市民が市内の医療機関に入院する割合、いわゆる「千歳市の入院自給率」が70.9%であり、市外への流出先としては札幌市が14.0%、次いで恵庭市が10.5%となっています。

外来については、各自治体とも地元医療機関での受療率が札幌市での受療率を上回り、地元の医療機関で診療を完結する傾向にあり、「千歳市の外来自給率」も86.0%に達しています。なお、市外への流出先としては札幌市が6.0%、恵庭市が6.8%となっています。

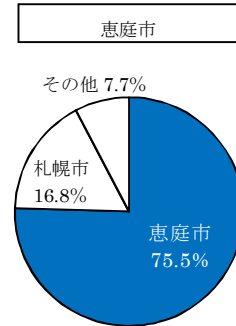
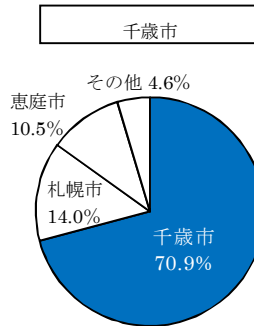
以上のことから、千歳市においては、入院、外来に関わらず市内医療機関で診療を完結している場合が多いものの、札幌市、恵庭市とも一定のつながりがあるといえます。

ただし、札幌市については、医療機関が集中しているとともに、3次救急医療を24時間365日体制で行う救命救急センターをはじめ、高度で専門的な医療を行う医療機関があることなどから、当圏域内に限らず道内の多くの市町村とのつながりがあると考えられます。

<入院>

(単位：%)

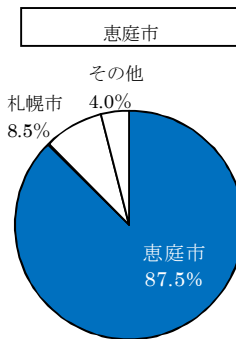
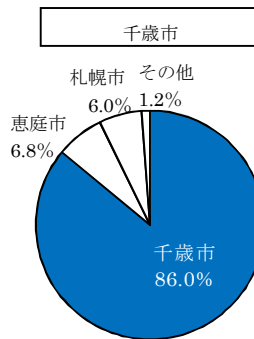
		入院医療機関所在地								
		札幌市	江別市	石狩市	当別市	新篠津村	千歳市	恵庭市	北広島市	その他
住民の居住地	札幌市	97.0								3.0
	江別市	42.0	52.7							5.3
	石狩市	59.8		37.4						2.8
	当別市	61.5	9.7	6.5	19.7					2.6
	新篠津村	28.7	10.7		5.5	15.8				39.3
	千歳市	14.0					70.9	10.5		4.6
	恵庭市	16.8						75.5		7.7
	北広島市	50.8						7.4	38.0	3.8



<外来>

(単位：%)

		外来医療機関所在地								
		札幌市	江別市	石狩市	当別市	新篠津村	千歳市	恵庭市	北広島市	その他
住民の居住地	札幌市	99.1								0.9
	江別市	18.3	80.4							1.3
	石狩市	35.0		62.7						2.3
	当別市	41.8	7.7		48.8					1.7
	新篠津村	10.5	13.7			36.3				39.5
	千歳市	6.0					86.0	6.8		1.2
	恵庭市	8.5						87.5		4.0
	北広島市	40.6							53.2	6.2



*北海道医療計画[改訂版]札幌圏地域推進方針(平成25年8月)より